

伊那地域定住自立圏形成に関する協定の一部を変更する協定書

伊那市（以下「甲」という。）と箕輪町（以下「乙」という。）とは、平成２８年１月７日に締結した伊那地域定住自立圏形成に関する協定の一部を変更する協定を次のとおり締結する。

別表中

「

３ 圏域マネジメント能力の強化			
分野	取組の内容	甲の役割	乙の役割
人材育成・交流促進	圏域内の人材の育成を図るため、各分野における専門知識や多様な経験を有する人材との連携や交流等を促進する各種事業に取り組む。	乙と連携して、圏域内における人材の育成を図るため、各分野における専門知識や多様な経験を有する人材との連携や交流等を促進する各種事業の中心的な役割を担う。	甲と連携して、圏域内における人材の育成を図るため、各分野における専門知識や多様な経験を有する人材との連携や交流等を促進する各種事業に取り組む。

」を

「

３ 資源制約に対応するための圏域マネジメント等			
分野	取組の内容	甲の役割	乙の役割
人材育成・交流促進	圏域内の人材の育成を図るため、各分野における専門知識や多様な経験を有する人材との連携や交流等を促進する各種事業に取り組む。	乙と連携して、圏域内における人材の育成を図るため、各分野における専門知識や多様な経験を有する人材との連携や交流等を促進する各種事業の中心的な役割を担う。	甲と連携して、圏域内における人材の育成を図るため、各分野における専門知識や多様な経験を有する人材との連携や交流等を促進する各種事業に取り組む。
公共施設	圏域内の公共施設の最適配置及び公共施設の集約化・共同	乙と連携して、圏域内における公共施設の最適配置及び公	甲と連携して、圏域内における公共施設

」を

設 の 集 約 化 ・ 共 同 利 用	利用等に係る調査検討や連携を促進するための各種事業に取り組む。	共施設の集約化・共同利用等に係る調査検討や連携を促進するための各種事業の中心的な役割を担う。	共施設の集約化・共同利用等に係る調査検討や連携を促進するための各種事業に取り組む。
資 源 効 率 活 用 の た め の 事 務	圏域内の人材をはじめとする資源を効率的に活用するために必要な事務の共同実施に関する各種事業に取り組む。	乙と連携して、圏域内の人材をはじめとする資源を効率的に活用するために必要な事務の共同実施に関する各種事業の中心的な役割を担う。	甲と連携して、圏域内の人材をはじめとする資源を効率的に活用するために必要な事務の共同実施に関する各種事業に取り組む。

」に改める。

この協定の締結を証するため、本協定書２通を作成し、甲及び乙がそれぞれ署名押印の上、各１通を保有する。

令和 7 年 3 月 27 日

甲 長野県伊那市下新田 3 0 5 0 番地
長野県伊那市 伊那市長 白鳥孝 

乙 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 1 0 2 9 8 番地
長野県上伊那郡箕輪町 箕輪町長 白鳥政徳 